

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-198262(P2015-198262A)

【公開日】平成27年11月9日(2015.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-069

【出願番号】特願2014-73623(P2014-73623)

【国際特許分類】

H 04 J 14/00 (2006.01)

H 04 J 14/04 (2006.01)

H 04 J 14/06 (2006.01)

H 04 B 10/2581 (2013.01)

【F I】

H 04 B 9/00 F

H 04 B 9/00 2 6 8

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モード多重伝送のための光送信装置であって、

各伝搬モードのそれぞれに対応する送信手段と、

送信手段により出力される波長多重信号が、当該送信手段に対応する伝搬モードで伝搬される様にマルチモードファイバに出力するガイド手段と、  
を備えており、

送信手段は、当該送信手段に対応する伝搬モードとは、伝搬定数の差が所定値以内である伝搬モードに対応する送信手段が使用する波長とは互いに異なる波長を使用することを特徴とする光送信装置。

【請求項2】

モード多重伝送のための光送信装置であって、

各伝搬モードのそれぞれに対応する送信手段と、

送信手段により出力される波長多重信号が、当該送信手段に対応する伝搬モードで伝搬される様にマルチモードファイバに出力するガイド手段と、  
を備えており、

送信手段は、当該送信手段に対応する伝搬モードの伝搬定数より大きく、かつ、最も近い伝搬定数の伝搬モードに対応する第1の送信手段、及び、当該送信手段に対応する伝搬モードの伝搬定数より小さく、かつ、最も近い伝搬定数の伝搬モードに対応する第2の送信手段のそれぞれとは互いに異なる波長を使用することを特徴とする光送信装置。

【請求項3】

前記モード多重伝送において使用される波長は、所定の波長間隔の波長グリッドに対応する波長であり、

前記マルチモードファイバの異なる伝搬モードのそれぞれに対応する送信手段において使用される波長は、異なる波長グリッドに対応する波長であることを特徴とする請求項1又は2に記載の光送信装置。

**【請求項 4】**

請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の光送信装置と、前記光送信装置と前記マルチモードファイバ経由で通信する光受信装置と、を含む光通信システムであって、

前記光受信装置は、

前記各伝搬モードのそれぞれに対応し、対応する伝搬モードの波長多重信号を受信する受信手段を備えており、

前記受信手段は、対応する伝搬モードの波長を選択する光フィルタを有することを特徴とする光通信システム。